



平成 30 年 5 月 9 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行  
代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光  
(コード番号 8742 東証第一部)  
問合せ先 取締役業務部長 渡 辺 宏  
(TEL 03-3664-3511)

### 平成 30 年 3 月期 業績速報値に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期の業績につきましては、5 月 11 日に正式発表の予定ですが、現在までの集計結果に基づき概数がまとまりましたので、下記のとおり、速報値としてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期 連結業績速報値 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	営業収益	営業総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
平成 30 年 3 月期 (速報値)	3,255	1,982	△344	△272	△178
平成 29 年 3 月期 (実績)	3,227	1,993	△210	△353	△128
増減率 (%)	0.9	△0.6	—	—	—

#### 2. 連結業績の概要

当連結会計年度における当社グループの主要な事業の営業収益の内訳は、投資・金融サービス業では受取手数料が 1,171 百万円 (前期比 3.2%減)、自己売買損が 53 百万円 (前期は 48 百万円の売買損) となりました。また、生活・環境事業は 927 百万円 (前期比 5.4%増)、スポーツ施設提供業は 442 百万円 (前期比 1.7%減)、不動産業は 618 百万円 (前期比 4.7%増) となっております。

これらの結果、当期は、営業収益 3,255 百万円 (前期比 0.9%増)、営業総利益 1,982 百万円 (前期比 0.6%減)、営業損失 344 百万円 (前期は営業損失 210 百万円)、経常損失は 272 百万円 (前期は経常損失 353 百万円) となる見込みであります。また、負ののれん発生益 16 百万円などの特別利益 54 百万円、固定資産除売却損 48 百万円やシステム移行費用 29 百万円などの特別損失 91 百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純損失は 178 百万円 (前期は親会社株主に帰属する当期純損失 128 百万円) となる見込みであります。

3. 平成 30 年 3 月期 個別業績速報値（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 30 年 3 月期（速報値）	331	179	△85	△46	△31
平成 29 年 3 月期（実績）	331	172	△98	△49	△44
増減率（%）	△0.2	3.8	—	—	—

4. 個別業績の概要

平成 30 年 3 月期における当社個別の業績は、賃貸料収入などの売上高 292 百万円（前期比 0.5%減）を含んだ営業収益が 331 百万円（前期比 0.2%減）となり、営業総利益 179 百万円（前期比 3.8%増）、営業損失 85 百万円（前期は営業損失 98 百万円）、経常損失 46 百万円（前期は経常損失 49 百万円）となっております。その結果、当期純損失は 31 百万円（前期は純損失 44 百万円）となる見込みであります。

（注）当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業は、商品市場、株式市況、為替相場等の変動により大きな影響を受ける傾向があり、業績予想を行うことが困難であるため開示しておりません。また、上記に記載した速報値は、現時点までの集計結果に基づいて作成したものであり、実際の業績は、速報値と異なる場合があります。

以 上